

株主メモ

- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 証 券 コ ー ド 4119
- 単 元 株 式 数 1,000株
- 事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定 時 株 主 総 会 6月中
- 基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元未満株式買取手数料および買増手数料
無料
- 公告掲載方法 電子公告といたします。
当社ホームページアドレス
<http://www.pigment.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

【株式に関するお手続きについて】 ○証券会社等でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社等
お手続き・ ご照会の内容	○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定 等
留意事項	未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が承ります。

○特別口座に記録された株式をご所有の株主様

お手続き お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
手続用紙の ご請求方法	音声自動応答電話によるご請求 TEL 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
お手続き・ ご照会の内容	○特別口座から一般口座への振替請求 ○住所・氏名等のご変更 ○単元未満株式の買取・買増請求 ○配当金の受領方法の指定(*) ○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。 売却するには、証券会社等に口座を開設したうえで株式の振替手続きが必要となります。

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。

株主のみなさまの声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社は、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で贈贈(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4119

いいかぶ

検索



空メールにより URL 自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp/>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

Pigment

日本ピグメント株式会社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町三丁目20番地

TEL 03-6362-8801 FAX 03-6362-8808

<http://www.pigment.co.jp/>

(2014年3月24日に本社・東京支店を移転致しました。)



この報告書は、環境に配慮し、ベジタブルインキを使用してあります。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

世界を彩る、日本ピグメント

暮らしに色があるかぎり、
わたしたちは、提供しつづけます。

Business Report

第78期 報告書 2013.4.1—2014.3.31

Pigment

日本ピグメント株式会社

証券コード：4119

経営理念

私ども日本ピグメントは、次の4つの理念を使命として、色彩関連製品を提供するとともに、人と自然環境の融合を理念においた製品作りを目指しております。

経営理念

1. 色彩を通じて、ゆとりのある生活をみなさまに提供し、社会の繁栄に寄与します。
2. グローバリゼーションの中で、地域社会との調和と共生を目指します。
3. 技術革新・サービス向上に努め、お客様のニーズに合った環境に配慮した高品質の製品作りを目指します。
4. 個性溢れる人材を育成し、創造性豊かで活力のある企業集団を目指します。

トップインタビュー

株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、企業価値向上に向けて今後とも全力を尽くしてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

取締役社長 **加藤 龍巳**



平成26年3月期(第78期)の業績と経営環境について教えてください。

当連結会計年度における我が国経済は、政府、日銀による経済政策や金融緩和の推進により、円高の修正、企業業績の回復などが見られ、株価上昇、デフレ脱却への期待感から景気は緩やかな回復傾向となりました。

当業界におきましては、円安による輸出品の増加、消費税率引き上げによる特に耐久消費財関係の駆け込み需要を背景として自動車、家電および住宅・建材関連は堅調に推移しました。

このようななか当社グループは、自動車産業および建材産業は在庫調整も進み概ね堅調に推移したものの、液晶関連向けは引き続き在庫調整等により厳しい状況となりました。東南アジア地区の販売は比較的堅調に推移しました。

このような結果、当連結会計年度の当社グループの売上高は42,007百万円(前期比4.2%増)、経常利益は647百万円(前期比9.6%増)となりました。当期純利益は特別利益として固定資産売却益等が発生したこともあり536百万円(前期比294.8%増)となりました。



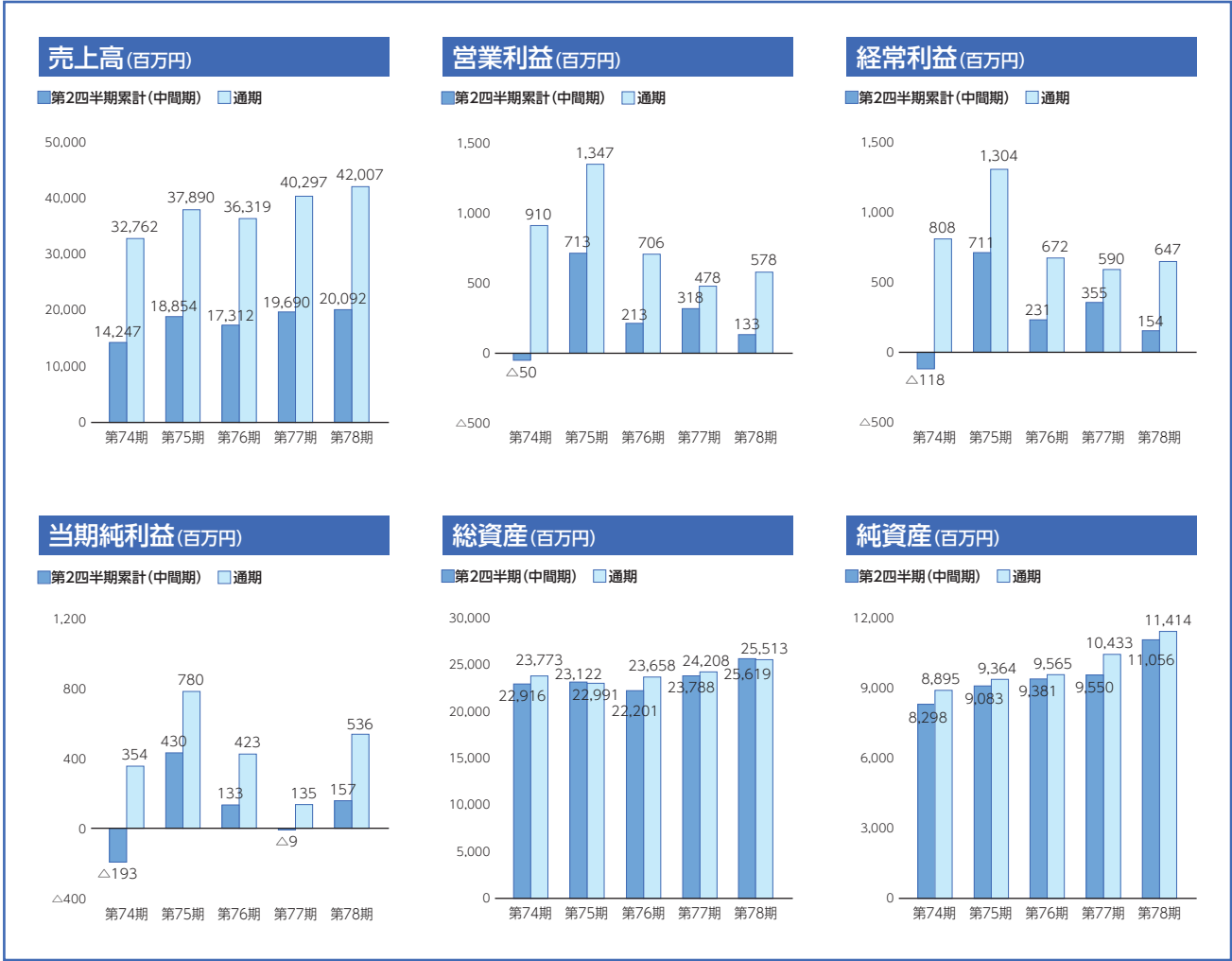
平成27年3月期(第79期)の見通しを教えてください。

我が国の景気先行きについては、当面消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待されます。ただし、引き続き中国経済の弱含みや欧州政情不安定等もあり、海外景気の下振れリスクも懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは、業務の効率性を高めて更なる合理化を推進することで企業体質の強化を図るとともに、業績向上に向けて営業活動・技術力の強化、高付加価値品の拡販、環境への対応と高品質の維持・向上に努めてまいります。また、エンドユーザーの海外移管の流れを睨み、国内生産体制の見直しを推進するとともに、新たな拠点展開を含めた海外での需要捕捉に努めてまいります。

●財務ハイライト

第78期は、自動車産業向けおよび建材産業向けが堅調に推移し増収となりました。また前期は子会社解散に伴う特別損失を計上したこともあり純利益は135百万円でしたが、第78期は固定資産売却益を特別利益として計上したこともあり536百万円となりました。



●連結貸借対照表（要旨）

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度末 2014年3月31日現在	前連結会計年度末 2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	13,134	12,709
1 固定資産	12,379	11,499
有形固定資産	8,726	8,467
無形固定資産	60	67
投資その他の資産	3,592	2,965
資産合計	25,513	24,208
負債の部		
流動負債	10,642	10,567
2 固定負債	3,456	3,207
負債合計	14,099	13,775
純資産の部		
株主資本	10,492	10,082
資本金	1,481	1,481
資本剰余金	1,047	1,047
利益剰余金	7,978	7,567
自己株式	△14	△14
その他の包括利益累計額	104	△333
少数株主持分	817	685
3 純資産合計	11,414	10,433
負債純資産合計	25,513	24,208

Point.1 固定資産について

固定資産は12,379百万円と前期末の11,499百万円に比べ879百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が259百万円増加し、投資有価証券が株価の上昇等もあり482百万円増加したことなどによるものです。

Point.2 固定負債について

固定負債は3,456百万円と前期末の3,207百万円に比べ249百万円の増加となりました。この主な要因は退職給付引当金が179百万円減少し、退職給付に係る負債を510百万円計上したことなどによるものです。

Point.3 純資産について

純資産合計は11,414百万円と前期末の10,433百万円に比べ980百万円の増加となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が579百万円増加したことなどによるものです。

連結財務諸表

●連結損益計算書（要旨）

(単位:百万円)		
科 目	当連結会計年度 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日	前連結会計年度 自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日
売上高	42,007	40,297
売上原価	38,546	37,097
売上総利益	3,460	3,200
販売費及び一般管理費	2,881	2,722
4 営業利益	578	478
営業外収益	242	249
営業外費用	173	137
経常利益	647	590
特別利益	118	3
特別損失	18	332
税金等調整前当期純利益	747	261
法人税、住民税及び事業税	82	222
法人税等調整額	112	△27
少数株主利益又は少数株主損失(△)	15	△69
5 当期純利益	536	135

Point.4 営業利益について

営業利益は、売上高の増加に伴い578百万円と前期と比べ100百万円の増加となりました。

Point.5 当期純利益について

当期純利益は536百万円と前期と比べ400百万円の増益となりました。この主な要因は前期においては子会社解散に伴う特別損失を計上したこと、第78期は固定資産売却益を特別利益として計上したことなどによるものです。

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位:百万円)		
科 目	当連結会計年度 自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日	前連結会計年度 自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日
6 営業活動による キャッシュ・フロー	231	1,241
7 投資活動による キャッシュ・フロー	△734	△1,392
8 財務活動による キャッシュ・フロー	△392	236
現金及び現金同等物に 係る換算差額	199	174
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△695	260
現金及び現金同等物の 期首残高	2,779	2,518
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	△6	－
現金及び現金同等物の 期末残高	2,077	2,779

Point.6 営業活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計期間において営業活動による資金の収入は前期と比べ1,010百万円減少し、231百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が747百万円で前期と比べ486百万円増加したものの、売上債権、棚卸資産が増加したこと等によるものです。

Point.7 投資活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計期間において投資活動による資金の支出は前期と比べ658百万円減少し、734百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が前期と比べ541百万円減少したこと等によるものです。

Point.8 財務活動によるキャッシュ・フローについて

当連結会計期間において財務活動による資金の支出は392百万円となりました。前期は236百万円の増加でした。

セグメント別概況

日本

日本は、上期に見られた在庫調整の動きが概ね一巡し、秋口以降は全般的に堅調に推移しました。この結果、当連結会計年度の売上高は23,269百万円(前期比0.6%減)、営業利益は237百万円(前期比73.7%増)となりました。

東南アジア

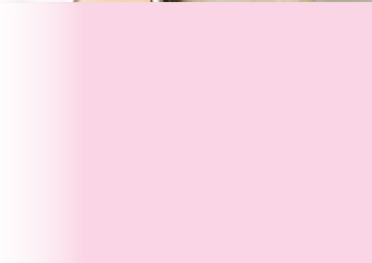
東南アジアは、第4四半期以降、堅調に推移していた車両関係の需要に一服感がみられたものの、円安の影響もあり、当連結会計年度の売上高は、17,849百万円(前期比9.2%増)となりました。一方、営業利益は、第1四半期におけるインドネシア第二工場建設に伴う追加工事費用の影響等から321百万円(前期比14.2%減)となりました。

その他

その他は、第2四半期以降、中国での日系自動車関連の緩やかな回復を受け、黒字に転じ、当連結会計年度の売上高は、888百万円(前期比61.2%増)、営業利益は、19百万円(前期営業損失33百万円)となりました。

各部門別の概況

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向け、建材産業向けが夏場以降の回復により堅調に推移しました。樹脂用着色剤部門は、自動車産業向けや建材産業向けが堅調に推移したものの、液晶関連向けでは在庫調整の影響が大きく、全体としては計画を下回る結果となりました。最後に、加工カラー部門は、自動車産業向け、建材産業向けが夏場以降回復傾向となりました。



みなさまに日本ピグメントをよりよく知っていただくため、当社製品の用途・事業内容・特長などを、わかりやすくご紹介いたします。

“豊かな色彩とゆとり”を、日常生活のあらゆる場面に提供しています

私たち日本ピグメントは、“色”の専門メーカーとして、創業以来、主にプラスチックの着色分野において、日常生活のあらゆる場面で“豊かな色彩とゆとり”を提供しています。私たちの身の回りには、例えば、自動車、家電、OA機器、日用品、化粧品など数え切れないほどのものがあり、これらに用いるプラスチックを美しい色に彩り、快適な生活をみなさまに提供しています。

当社は、主にプラスチック・コンパウンドの分野でプラスチックの成形用材料や着色剤の提供を行っており、消費者のみなさまには馴染みのない裏方的な存在ですが、日本ピグメントのカラー化技術は、それらの製品にとって、機能・デザインとともに重要な役割を担っています。



※事業内容の一例であり、全ての事業がこのフローとなるわけではありません。
また、理解促進のために内容を単純化する等しておりますこと、ご了承下さい。

～長年蓄積された高度な技術と、高品質へのこだわり～

当社は、お客様の色彩ニーズの満足度向上、品質の維持・向上への追求から自社、グループ内での製造にこだわってまいりました。

このこだわりによって蓄積した、当社独自の着色剤および添加剤の選定・配合技術、コアテクノロジーである高度な分散技術、お客様に満足を提供するための生産技術などのノウハウが、コア・コンピタンスの源泉となっております。

特に分散技術に関しては、微細化が要求されるカラーフィルター用、インクジェット用などの液体分散体分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等、高度な技術を駆使し、それらの先端分野でさまざまな液体分散体を提供しております。

会社の概要（2014年3月31日現在）

●概要

- 会社名 日本ピグメント株式会社
(Nippon Pigment Company Limited)
- 本社所在地 東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
- 代表者 取締役社長 加藤 龍巳
- 創業 1925年(大正14年)
- 事業内容 樹脂コンパウンド……プラスチック成形用材料
樹脂用着色剤……………プラスチック着色剤
加工カラー……………塩化ビニール着色剤等
ピグメントカラー……塗料用、印刷インキ用等
- 資本金 14億8,115万円
- 株式 東京証券取引所市場第二部上場

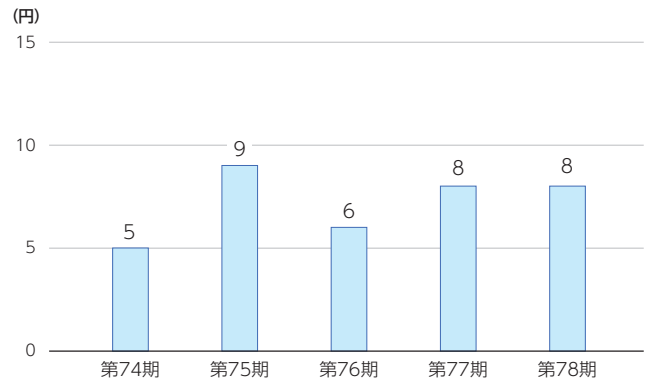
●国内拠点・海外拠点

- 本社・営業部門
 - ・本社・東京支店
 - ・大阪支店
 - ・名古屋支店
- 生産部門
 - ・埼玉川本工場(埼玉県)
 - ・大阪工場(大阪府)
 - ・東京ピグメント(株)(埼玉県)
 - ・ニッピ化成(株)(埼玉県)
 - ・名古屋ピグメント(株)(愛知県)
 - ・大阪ピグメント(株)(奈良県)
- 海外
 - ・Nippon Pigment (S) Pte. Ltd. (シンガポール)
 - ・Nippon Pigment (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)
[Head Office and Shah Alam Plant]
[Penang Plant]
 - ・P.T.Nippisun Indonesia (インドネシア)
 - ・天津碧美特工程塑料有限公司(中国)
 - ・NPK Co.,Ltd. (韓国／持分法適用関連会社)
 - ・上海新素材特種聚合物有限公司(中国／持分法適用関連会社)

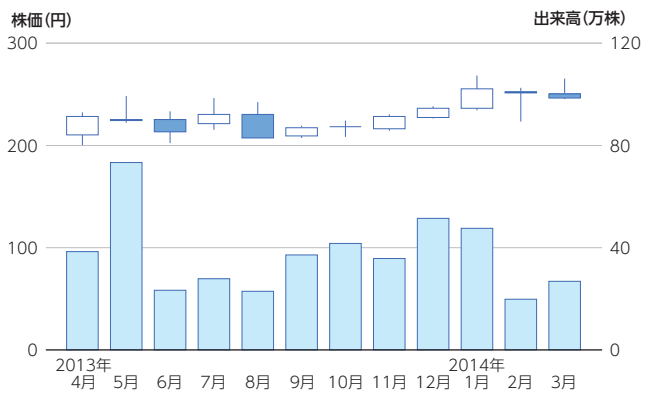
株式の概要

●株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株
(うち自己株式48,417株)
- 株主数 1,889名
- 配当金の推移



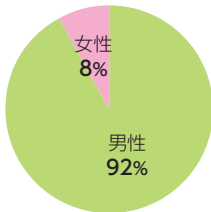
●株価チャート(月足)



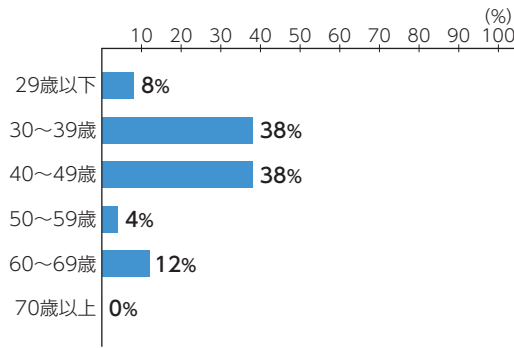
株主アンケート結果

当社は、第78期中間報告書送付の際に、株主様向けアンケートを実施いたしました。アンケートの結果について抜粋してご報告いたします。

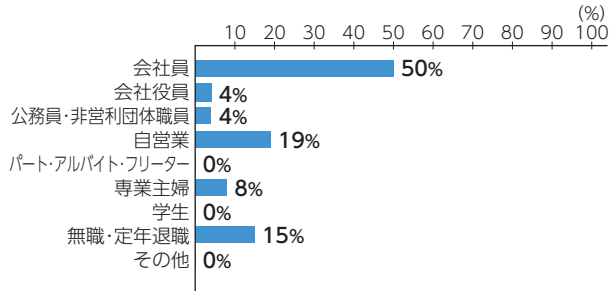
●あなたの性別をお知らせください。



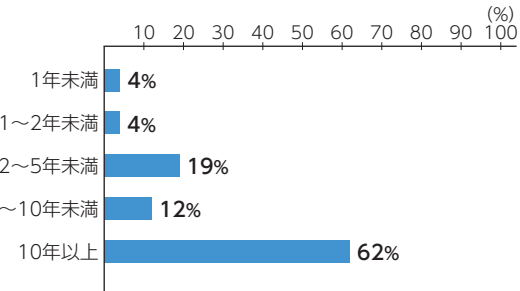
●あなたの年齢をお知らせください。



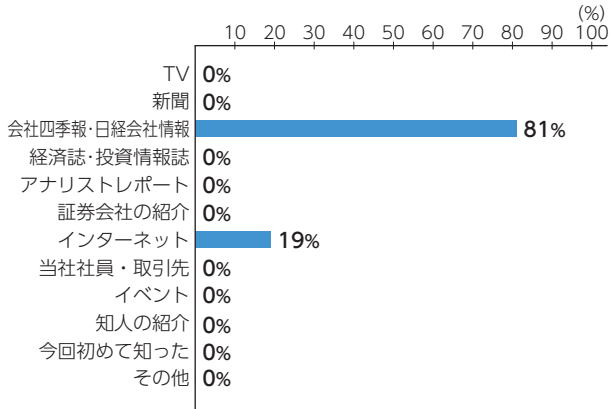
●あなたのご職業をお知らせください。



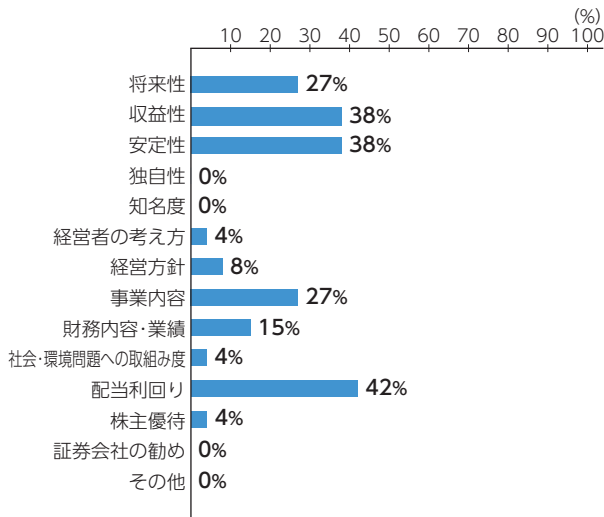
●あなたは株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



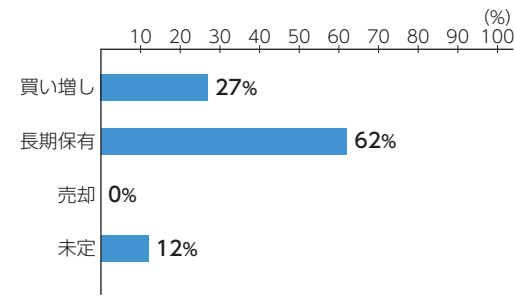
●あなたは当社をどこでお知りになりましたか。



●あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。



●あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



このたびは、アンケートにご回答いただきまして、ありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。
今回いただきましたご回答を、今後の参考にさせていただきます。